

町民一人当たりの税負担額
31,413円

町民税 9,771円	固定資産税 16,724円	軽自動車税 1,531円	町たばこ税 3,387円		
----------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	--	--

**町民一人
当たり
に使われる額**
2,312,403円

議会費
7,198円

総務費
100,893円

民生費
1,264,622円

衛生費
55,617円

農林水産業費
28,393円

商工費
133,840円

土木費
18,285円

消防費
30,154円

教育費
47,134円

災害復旧費
184,187円

公債費
80,117円

復興費
359,463円

予備費
2,500円

平成24年度の 主な取り組み

(※1万円未満切り捨て)

1 安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

地域支え合い体制づくり助成事業 **2億175万円**
 河川災害復旧事業 **2億2,000万円**
 道路災害復旧事業 **3億9,000万円**
 防災行政無線システム災害復旧事業 **1億2,200万円**
 介護基盤緊急整備事業 **9,000万円**
 看護・介護学生等修学資金貸付事業 **240万円**
 災害対策長期派遣事業 **5億6,700万円**
 防災集団移転促進事業 **29億5,127万円**
 かけ地近接等危険住宅移転事業 **18億9,036万円**

4 自然と共生するまちづくりの推進

災害廃棄物処理事業 **169億8,297万円**
 スクールバス運行事業 **1億2,677万円**
 公共施設等照明LED化事業 **800万円**
 南三陸材利用促進事業 **200万円**
 町有林保育事業 **665万円**
 合併浄化槽設置補助事業 **1,800万円**

2 生命と財産を守る防災と減災のまちづくり

自主防災組織育成事業 **200万円**
 消防小型動力ポンプ付積載車整備事業 **600万円**
 地域防災計画検証事業 **1,500万円**

5 ふるさとを想い、復興を支える「人づくり」

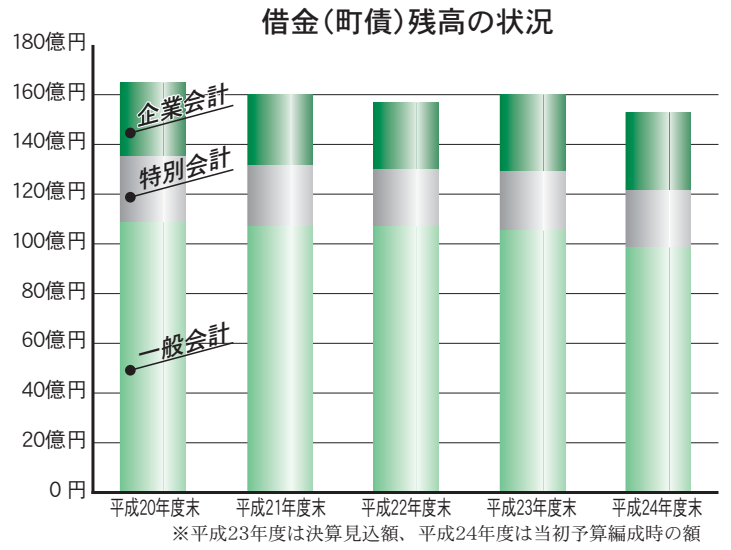
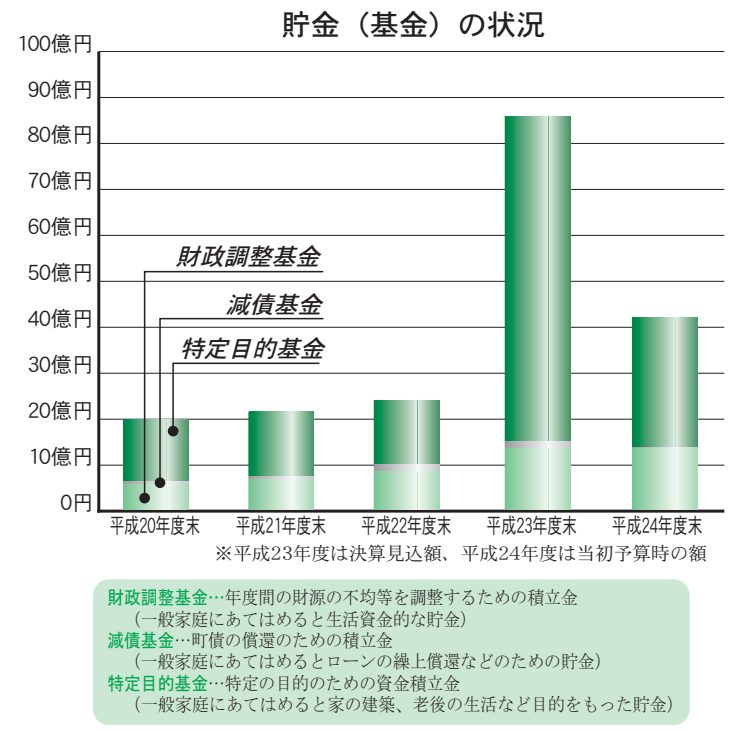
公立学校災害復旧事業 **9,100万円**
 生涯学習館建設事業 **5,000万円**

3 安心を実感できる保健・医療・福祉のまちづくり

障害者基本計画・障害福祉計画策定事業 **158万円**
 乳幼児医療費助成事業 **2,440万円**
 保育所施設修繕事業 **1,083万円**

6 なりわいと賑わいの再生

震災等緊急雇用対策事業 **3億1,651万円**
 生涯現役・全員参加・世代継承型雇用創出事業 **15億6,248万円**
 漁港災害復旧事業 **19億8,942万円**
 被災農家経営再開支援事業 **1億5,400万円**
 農業生産対策事業 **2,916万円**
 起業支援補助事業 **1,500万円**



会計区分		24年度当初予算	対前年度比
特別会計	国民健康保険特別会計	28億5,600万円	7.3%
	後期高齢者医療特別会計	1億5,100万円	▲9.7%
	介護保険特別会計	14億6,100万円	▲7.5%
	居宅介護支援事業特別会計	2,520万円	▲25.4%
	市場事業特別会計	2,250万円	▲14.8%
	漁業集落排水事業特別会計	1億440万円	473.6%
	公共下水道事業特別会計	1億5,510万円	▲22.2%
	計	47億7,520万円	1.9%
企業会計	水道事業会計	収益的収入	3億148万円 ▲23.3%
		収益的支出	3億10万円 ▲2.2%
		資本的収入	1億469万4千円 14.8%
		資本的支出	2億1,509万2千円 ▲46.6%
	病院事業会計	収益的収入	9億449万5千円 ▲43.6%
		収益的支出	12億5,900万円 ▲21.5%
		資本的収入	7,477万4千円 ▲53.8%
		資本的支出	7,477万4千円 ▲53.8%
	訪問介護ステーション事業会計	収益的収入	5,610万3千円 ▲4.5%
		収益的支出	5,610万3千円 ▲4.5%
(支出) 計		19億506万9千円	▲24.8%

【南三陸町の貯金】

一般会計の平成23年度末の貯金（基金）残高見込額は、財政調整基金、減債基金、特定目的基金を合わせると約86億4,236万円となります。

財政調整基金の平成23年度末残高見込額は約13億2,487万円で、当町の標準的な金額5億4千万円を上回っています。平成24年度当初予算編成において、財政調整基金の取崩しはなく、平成24年度末の残高は同規模となる見込みで、引き続き標準的な金額を維持するよう努力していきます。

減債基金は、平成19年度に借入を行ったケヤキ債が平成24年度で満期一括償還となるため、その償還額の1億円を減債基金から繰入れることにより、平成24年度末残高見込は約1,276万円となります。

特定目的基金については、平成23年度末残高見込額が約72億812万円と大幅な増額となっています。これは、平成23年度に復興交付金事業等に要する経費の財源に充てるため設置した復興交付金基金等による増額となっています。

【南三陸町の借金】

町が、学校や道路、漁港など長い期間使用する公共施設を建設するときその財源として町債発行という形で借金をしています。これは、単に一時にお金がかかりそのお金がないからという理由だけではなく、建設にかかるお金を分割払いにして、これから利用する町民も世代間にわたって公平に負担しようという考えからです。

なお、平成23年度末の借金（町債）残高見込額は、全会計で、159億1,915万円となりました。一般会計では、平成23年度末残高見込額は104億8,485万円となっています。平成24年度は、ケヤキ債の満期一括償還があることや、新規借入が少ないこと等の影響により減少する予定ですが、平成25年度以降は災害公営住宅建設事業の影響により、増加すると予想されます。

【特別会計予算】

総額47億7,520万円となり、前年度と比べると8,920万円、1.9パーセントの増となっています。国民健康保険特別会計において、窓口一部負担金の減免措置延長による給付費の増額や、漁業集落排水事業特別会計において、災害復旧事業による増額が要因となっています。

【企業会計予算】

総額19億506万9千円となり、前年度と比べると6億2,975万3千円、24.8パーセントの減となっています。水道事業会計では、災害復旧事業に取り組む一方において、震災の影響により、給水件数、年間総給水量を25パーセントの減として業務の予定量を見込んだことから、大きく減額となっています。また、病院事業会計についても、震災の影響により病床数が減少していることや、医療機器整備事業の減に伴い大きく減額となっています。